



業界初！緊急連絡・安否確認システム 「e-安否」がTwitterでの 安否の問い合わせ一斉配信に対応！

緊急連絡・安否確認システム「e-安否」が、安否の問い合わせの連絡方法として、これまでのeメールでの配信の他に、Twitterでのダイレクトメッセージに対応しました。メール一斉配信型の安否確認システムで、Twitterでの配信に対応したものはありませんので、業界初となります。

詳しくはこちら <http://www.e-anpi.jp/>

e-安否とは？

緊急時に一斉に登録している社員へメールを配信し、社員の安否や家族の安否、その後の出勤可否などの連絡を迅速に携帯電話のメールと携帯にあるブラウジング機能を使って行うためのツールです。東日本大震災でも停止することなく、迅速に社員に連絡するためのツールとして使えました。

東日本大震災ではメールが遅延したため、Twitterが活躍しました

東日本大震災では、携帯会社のメールが遅延したため、安否確認のメールが届くの遅れました。この間、Twitterを普段から利用している人は、Twitter経由で安否の確認やメッセージのやり取りをしていました。e-安否では、一斉メール配信と同時に、登録されているTwitterのアカウントへ配信し、より迅速な安否確認に役立てることができるようになりました。

e-安否の特長

- 2005年に誕生したシステムで、稼働実績6年です。
- 一斉にメールを配信し、携帯ブラウザで本人の安否の回答や家族の安否、出社の可否などを回答するシステムです。
- 集計は瞬時に行われ、管理者はすぐに集計結果を閲覧することができます。
- 組織図を構成することが出来、組織のツリー単位でメールの配信などができます。
- 組織図とは別に、グループを作成することができます。役員全員や支店長以上などのグループを作り、一斉に配信することができます。
- 未回答者にのみ、自動的に再送信する機能があります。
- 返信時の確認項目は自由に設定できます。本人安否「無事・負傷」の他に、家族安否「無事・負傷」や出勤可否「可能・不可・未定」など、任意の項目を複数作成可能です。
- 全ての携帯電話、PHSで利用可能です。
- 携帯電話でも一斉配信の操作が可能です。（一部の機能を除く）

会社概要



社名	株式会社ラビックス
代表	藤岡岳之（ふじおかたけゆき）
設立	2002年6月25日
資本金	1000万円
事業	緊急連絡・安否確認システムの提供

会社沿革

2002年6月	福島大学発の最初のベンチャー企業として資本金333万円で創業
2003年7月	福島駅西口インキュベートルームへ入居
2005年7月	緊急連絡・安否確認システム「e-安否」リリース
2006年7月	資本金1000万円へ増資
2007年11月	業務拡大のため、インキュベートルームを卒業し、五月町へ移転
2008年3月	商工会議所の優良企業表彰を受賞

本件に関する問い合わせ先

TEL/FAX 024-526-0220 / 024-526-0221
担当 松浦